

案件

市立小学校の水泳授業における民間活力の活用について

総合教育部 教育政策課
新しい学校推進課
学校教育部 教育指導課

1. 政策等の背景・目的及び効果

市立小学校の水泳授業における民間活力の活用事業については、令和3年（2021年）12月に「市立小学校の水泳授業における民間活力の活用について—基本的な考え方—」を策定の上、令和4年度（2022年度）から実施校を拡大しながら実施してきました。

その後、この間の物価高騰などによる社会状況の変化や、事業実施の中で明らかになった課題などもあることから、改めて課題等の整理を行った上で、本事業の今後の方向性を示す計画の作成期間を、令和6年度（2024年度）まで延長し、現時点で生じている課題等について対応策などを整理することとしていました。

今回、各施設の受入れ枠の見込みなど、今後の課題について民間事業者へのヒアリングを行いましたので、その結果等についてご報告するものです。

2. 内容

(1) ヒアリング実施期間

令和6年(2024年)6月10日～7月9日

(2) ヒアリング対象施設(事業者)

市内および近隣の民間水泳施設 計14施設を運営する計9事業者

ヒアリング対象施設(事業者)一覧

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ・枚方スイミングスクール | ・ビッグ・エスくずは |
| ・枚方スイミングスクール香里 | ・くずはスイミングクラブ |
| ・牧野スポーツクラブ | ・くずは男山スイミングスクール |
| ・コナミスポーツクラブ香里ヶ丘 | ・コパンスイミングスクール長尾 |
| ・コナミスポーツクラブ寝屋川 | ・リーズスイミングクラブ |
| ・コナミスポーツクラブ八幡 | ・ゲンゼスポーツ枚方 |
| ・ビバスポーツアカデミー枚方 | ・ゲンゼスポーツ京都八幡 |

(3) 施設（事業者）からの意見について

①施設の受入れ枠拡大について

- ・各事業者とも、量に差はあるものの総じて受入れ拡大は可能との意見であった。
- ・受入れ枠拡大の条件として、多くの事業者は、3学期まで含めた通年での授業実施が必要との意見であったほか、一部の事業者からは、会員利用との併用や、系列の市外店舗の利用などによる受入れ枠の確保が可能との意見もあった。

②契約手法について

- ・スタッフの人材確保や効率的な配置のため、授業時間の組み方の工夫や、複数年契約を求める意見があった。
- ・スタッフ体制の整備やバスの確保のため、学校から実施日などのスケジュールをこれまでより早く示してほしいとの意見があった。

③送迎バスについて

- ・送迎用のバスについては、運転手の確保が困難となっている。特に令和7年度（2025年度）は大阪万博の影響もあり、さらに困難となることが予想される。
- ・学校や施設によっては、付近にバスの乗車場所・待機場所がないことも課題である。

④スタッフ派遣について

- ・学校プールへのスタッフ派遣は、人材確保や採算性などの面から難色を示す事業者が多かった。
- ・一部の事業者からは、スタッフ派遣に前向きな意見や、学校の協力や必要スタッフ数など条件面が合えば実施可能との意見もあった。

⑤その他、本事業に対する意見等について

- ・小規模校で児童数が施設の受入れ許容量を超えておらず、事前に指導や評価の進め方について各学校と調整ができれば、複数校合同で授業を実施することも可能。
- ・現禁野小学校のプールについて、条件があれば、活用検討は可能。

(4) 本ヒアリングを踏まえた受入れコマ数の見込みについて

全学校での実施に必要なコマ数の総数	およそ 1, 760 コマ (※各学校のクラス数等から算出)
各施設における受入可能コマ数の総数	およそ 1, 820 コマ (※施設からの聞き取り内容から算出)

※授業1回分(1時限45分を2時限連続)を1コマとしています。

(5) ヒアリング結果を踏まえた今後の検討事項について

施設側の受入れ可能コマ数について、計算上では、全学校での実施に必要な数を上回る見込みであるため、次の事項について検討を行う。

- ・通年での実施を想定した、学校行事のスケジュールなど学校との調整や保護者の理解
- ・施設と学校の効率的なマッチングを進めるため、効果的な指導時間との両立が可能なバスによる移動時間の考え方の整理
- ・学校と施設間を送迎するバスの確保
- ・複数校合同実施などコマ数の効率的な活用手法
- ・安定的な事業実施のためのセーフティネットの考え方の整理や、複数年契約の検討
- ・スタッフ派遣の考え方の整理、実施校の選定や持続的な実施に向けた仕様の見直し
- ・市保有プール等を活用した新たな施設整備の必要性
- ・バスの賃借料を含め全小学校の水泳授業を民間委託した場合に必要なコストの試算

3. 今後の予定

- 令和6年（2024年）8月 教育子育て委員協議会にヒアリング結果等について報告
- 11月 教育子育て委員協議会に「(仮称) 小学校水泳授業民間活用推進計画（案）」について説明

4. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画

基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち

施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち

枚方市教育振興基本計画

基本方策 2 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実



5. 関係法令・条例等

学校教育法、学習指導要領 等

6. 事業費・財源及びコスト

《事業費》 総額 51,879 千円（令和6年度（2024年度）当初予算）

内訳 （水泳授業指導委託料） 49,074 千円

（送迎バス運行委託料） 2,805 千円

《財 源》 一般財源